*N*-アリールアンモニウムフルオリドの合成と求核的フッ素化能の評価

**14ポイント，ゴチックフォント**

**25 mm**

(1 line)

**研究代表者に\***

（摂南大薬）○軽尾友紀子，樽井　敦，佐藤和之，表　雅章\*

(1 line)

**Synthesis and evaluation of *N*-arylammonium fluoride for nucleophilic fluorination**

**英文氏名，講演者にアンダーライン，研究代表者に\***

(1 line)

**ご講演の英文題目を記入**

Yukiko Karuo, Atsushi Tarui, Kazuyuki Sato and Masaaki Omote\*

Faculty of Pharmaceutical Sciences, Setsunan University

45-1, Nagaotoge-cho, Osaka 573-0101, Japan

**英文要旨**

omote@pharm.setsunan.ac.jp

(1 line)

All manuscripts must be type-written on one side of A4 size paper (210mm x 297mm), camera-ready and must be prepared in **two pages** including figures. Manuscripts will be printed to A4 size. The English abstract will consist of 100-150 words.

(1 line)

1. 緒言

**25 mm**

**25 mm**

ここから本文をお書き下さい。以下，形式は自由です。

1. 実験方法など
2. 結果及び考察など

参考文献

1. Y. Karuo, A. Tarui, K. Sato, K. Kawai, M. Omote, *The Chemical Record*, **2023**, e202300029.

2. Y. Karuo, A. Tarui, K. Sato, K. Kawai, M. Omote, *Beilstein J. Org. Chem.*, **2022**, *18*, 1567–1574.

**25 mm**

**要旨作成上の諸注意**

● 英語要旨，日本語本文，図，表，写真等を含めて，**A4用紙2枚**とします。原稿は縮小せずにそのまま**（camera-ready）**A4版に印刷されます。（推奨書式：フォントサイズ：タイトル：14ポイント，その他：11ポイント，フォント：日本語本文は明朝体系，日本語見出しはゴチック系, 英語はTimes系フォント）

● 原稿はMicrosoft Wordソフトにて，**上下左右に25 mmのマージン**をとって作成してください。この枠内で図・表は自由にレイアウトしてください。**図・表のキャプションは英語**で作成願います

● 講演タイトル以下，英文住所およびメールアドレスの行まで**センタリング**を行ってください。なお，研究代表者にはアステリスク(\*)を記載し，上記の要領にしたがって研究代表者のメールアドレスをアステリスク付で記入して下さい。

● 講演者(和文)の前には**丸印**をつけてください。講演者(英文)には**アンダーライン**を引いてください。英文アブストラクトを**100～150語**で記載してください。

 本文中の見出しはこの要領に示したもの以外をお使いいただいても結構です。

● **講演要旨の締め切り**：**9月8日(金)必着**とします。

● **原稿送付：**PDFファイルを世話人宛(fluorine@setsunan.ac.jp)に添付送信してください。